

主なご意見（発言の一部を抜粋しております）【谷井田地区 令和7年7月13日開催】

番号	要望・課題	内容	市民懇談会での回答	その後の対応 (令和7年8月末現在)
1	開発公園の草刈りについて	開発公園の草刈りを自治会で実施しているが、近年、高齢化もありだんだん対応が難しくなっている。開発公園の管理を市で市で草刈りも対応してもらえないか伺いたい。	現在、本市では約160か所の開発公園があり、都市計画課で状況把握のため調査中である。近々、調査が完了するので、その後に、こういった管理や対応ができるかを地域の皆さんの意見を聞きながら、地域性に合わせて対応を検討する。	市内の開発公園の状況把握については、8月末に完了した。今後、どのような管理や対応ができるかを地域の皆さんの意見を聞きながら、高齢化といった地域の課題等に合わせて、対応を検討していく。
2	一斉清掃と市道の除草作業について	毎年、一斉清掃を行っているが、市道の雑草がかなり生えている。一斉清掃に合わせて市道の除草作業を実施すれば、まちの美化につながると思うので、対応してほしい。	市道の除草作業は、交通上支障がある箇所を年2回程度実施している。除草時期を一斉清掃に合わせられるかを調整し、対応可能であれば実施していきたい。	
3	防犯灯の市移管について	現在、自治会で管理している防犯灯の電気代は自治会が負担している。要綱の改正に伴い、市に新たに移管できる防犯灯があるかを市で確認してほしい。自治会で設置した防犯灯について、管理費が負担となり、防犯灯を外したところがあるが、再設置してもらうことは可能かお伺いしたい。	防犯灯の要綱を改正し、市街化区域や通学路などはこれまで60mとしていた設置間隔を30mとした。この改正によって自治会等で管理していただいていた防犯灯についても移管できる条件を緩和している。自治会等で電気料金を支払っている防犯灯があった際には、まずは防災課に相談してほしい。また、防犯灯の再設置についても、防災課に相談してほしい。防災課が現地確認を行い、必要と判断した場合は、再設置する。	
4	自治会の現状について	後継者不足により自治会活動が困難になってきている。今後も自治会活動が継続できるような研修や対策があれば教えてほしい。	自治会の存続については、何度も相談を受けており、どこも同じ問題を抱えている。市も模索しているが効果的な対策はまだ見つかっていない。市も全国の事例を参考に、皆さんと一緒に考えていきたい。	8月3日に研修会を実施。
5	熱中症対策について	熱中症対策で防災無線を流すが、防災無線以外にも熱中症対策があればお伺いしたい。	国から熱中症警戒アラートが発令された場合は、防災無線のほかHPでお知らせしている。また、市内の店舗に協力を得て、クーリングシェルターを実施している。 熱中症のアナウンスは、つくばみらい市公式LINEでも配信している。そのほか、防災アプリに連携しているため、さまざまな情報が配信されている。事前に登録が必要となるため、ぜひ登録をお願いしたい。	
6	高齢化に伴う孤独死と独居老人の支援について	全国的に、年々独居老人が増えてきており、つくばみらい市も同様な問題が発生しつつあると感じている。その中で、孤独死や独居老人の支援といった問題について、市ではどのように考えているかをお伺いしたい。	市でも独居老人が増えていることは、認識している。 独居老人の支援は、例えば災害時の避難では、避難行動要支援者の登録をすると、必要に応じて避難所への送迎なども実施している。また、民生委員の方が、定期的に状況把握をするため訪問している。 そのほか、高齢者の一人暮らしの方の対応については、「緊急通報システム見守りサポート」という通信機器を利用した見守りを実施している。一人暮らしだけでなく高齢夫婦など有料にはなるが希望があれば貸与をすることもできる。	
7	空き家問題について	空き家問題についてどのように考えているかお伺いしたい。	空き家対策については、「空き家バンク」という空き家を借りたい人と貸したい人を結ぶ橋渡しの制度がある。 「空き家バンク」に登録した人は、空き家活用補助金が活用できる場合もあり、リフォームなどをすると補助がある。また、空き家の解体にも補助金を実施している。そのほか、空き家にならないようにするための相談会を実施している。	
8	道路の改善について	大豊建設跡地の南東の道路は、雨が降ると車道部分を含めて水が溜まってしまう。半日くらい水が引かないので、車が通るとき歩行者が危ない。市で把握しているのか。また、改善してほしい。	建設課では当該箇所に水が溜まることを把握している。現在、水の流れ先を検討しているが、なかなか難しく、解決策を検討中となっている。	
9	カスミ谷井田店前の歩道設置について	カスミ谷井田店は、谷井田地区の住民が毎日買い物に利用する。しかし、カスミ谷井田店南側に路側帯はあるが、歩道がなく通行に危険が生じているので、歩道を整備してほしい。	カスミ谷井田店南側には、片側しか歩道がないのを認識しており、県土木事務所に要望しているが、改めて要望として直接土木事務所に要請する。	県土木事務所に要望済み

10	高齢者避難施設の建設について	近年、災害が多く、今後も発生することが懸念されている。避難の可能性があると、避難をするように連絡をするが、高齢者はすぐに準備ができない。避難場所までの移動手段がないなど避難が難しいことが多く、結果、家で待機することになってしまう。避難場所が近くに建設できないか。例えば、高齢者用の大きな施設を建設し、高齢者が集まれる施設にするなど、もっと先を考えた高齢者用施設を考えてほしい。	非常にいいアイデアだと感じた。費用などいろいろ加味しながら考えていく必要がある。	
11	ごみの広域処理について	ごみ処理場の火災の影響で分別が増えて、不便を感じている。つくばみらい市の人口は増加しており、まだまだ人口が増える可能性があるなかで、ごみ処理場を新たに建設するなど、ごみ処理に関してどのように考えているかお伺いしたい。	常総環境センターでは復旧工事を検討しており、復旧費は約45億円としている。火災のあった不燃ごみの施設を復旧して、以前のようにごみ処理をする検討をしていると聞いている。 現在、ごみの分別による資源化が浸透してきた結果、可燃ごみ及び不燃ごみの排出量は減少している。常総環境センターの規模であれば、継続して運営可能と考えている。	
12	非常時の備蓄について	災害時の避難所の問題もあるが、備蓄についてもお伺いしたい。具体的には、各家庭では、どれくらい備蓄したらよいのか。市では、どれくらい備蓄しているのかをお伺いしたい。	市ではの食料品及び用水、避難所用テント、毛布、簡易トイレ、発電機、投光器、使い捨て哺乳瓶、生理用品などさまざまな用品を市内30か所に備蓄を進めている。備蓄品に不足が生じたときは災害協定を結んでいる企業などに支援を受ける体制を整えている。期限間近の備蓄品は、イベント等で市民に配布し、新たに買い替える。 各家庭の備蓄に関しては、最低でも3日分、可能なら1週間分の準備をお願いしたい。	
13	魅力ある子育て、教育の実施について	市の将来を考えたとき、子育てや教育が必要と考えている。またこの市に戻ってきて住みたいと思うまちづくりをするために市は、どのように考えているのかお伺いしたい。具体的には、学校給食では、子どもにちゃんと食べて満足しているのか、こども食堂は良い試みだが、この先どうするのかなど、子どもをどのように支援して、教育や人材支援をしようとしているのかお伺いしたい。	こども食堂は、子どもだけでなく大人の参加もあり、食事をとおして、コミュニティや子育てを支援する場になっている。 現在、保育施設は、公立、民間合わせて24施設あり、待機児童はゼロとなっている。児童が増えるような状態となれば、保育施設の増設を考えている。ただし、過剰供給になると、民間施設が倒産する可能性もあるため、需要を見極めながら供給をしていく。 市の学校給食は市内産のお米を中心とした米飯給食となっている。給食費では賄い切れていないため、不足分は子育て支援の意味もあることから市が補助をしている。また、市で教育を受けた子どもが、世界で活躍してもらうことも考え、英語教育に力を入れている。市では1年生から授業を実施しているほか、保育園などにもALTを派遣して、英語に触れる機会を増やしている。市は、「英語を話せる15歳」を目標にして、学校教育に取り組んでいる。	